文の名し

南地
大評判の大象
大都舎帰し

象しるあんやら。呉国から。大象が
わのそをにとぼけ。みなこのこゑの。川
ふけよ。探だんふうく身のたけも。足が
五尺で二ゐんかも。ゐるおもひハ変
ずら。今ハいろさへ黒うして。一の上が
おきやくがうきつとめ。百象の。まへを
白とふみりやまとと。うろやさ目つ互で
あでもとらでも象かつける蟻づく

笑福亭 松橋作

耳ノ巾 一尺九寸
胴ノ長サ 一丈
廻り 二丈三尺
脊ノたけ 七尺
足長サ 三尺五寸

星乃家筆